

事務事業名 地域福祉計画推進事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：226

施策：	15	地域福祉の推進	財務コード	01030101-30-138
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標			担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成17年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		・「筑紫野市地域福祉計画等推進委員会」を開催し、計画の進捗管理を行うことで、地域福祉の確実な推進を図る。 【活動内容】 筑紫野市地域福祉計画等推進委員会（委員数15名、年2回開催） ・福祉に関する啓発活動を行っている「ちくしの福祉村」運営委員会が公開講座を行うことで、計画が目指している地域福祉の推進や福祉意識の醸成を図る。 【活動内容】 「ちくしの福祉村」運営委員会（委員数16名、カミ - リヤで開催）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
市民のだれもが安心して暮らせる福祉のまちが実現する。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
相互扶助で地域福祉ができていると思う市民の割合（市民アンケート）	%	19.8	21	25	25			25.2
「ちくしの福祉村」の受講者数	人	44	187	350	286			500
5. コスト								
事業費	計	千円	76	202	339	5,900		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	76	202	339	5,900			
正職員人工数	人工	0.59	0.49	0.8	0.8			
正職員人件費	千円	4,673	3,787	6,252				
トータルコスト(事業費 + 正職員人件費)	千円	4,749	3,989	6,591	5,900			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	市民アンケートの結果では、上下しているが横ばいの状態である。 「ちくしの福祉村」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、公開講座として募集を行わず、参加人数を限定した学習会の開催したため受講者数は減少している。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）					

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
社会福祉法に基づき、平成17年に「筑紫野市地域福祉計画及び地域福祉活動計画」を策定（平成22年度に見直し実施）。平成26年に「第二次筑紫野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定し、令和2年度に中間見直しを実施した。令和7年度始期の第三次計画を令和6年度策定予定。	